



黒岩探訪

たんぼう

35

KUROIWA
くろいわ

古墳

黒岩地区の古墳と
富岡五号古墳出土埴輪

前号で、富岡市立美術博物館に展示してある富岡中学校校区の文化財について、左の三つの文化財のうち「二」について述べました。

- 一 黒岩出土のオオツノシカの化石骨
- 二 弥生時代の黒川小塚遺跡
- 三 西小校庭出土の富岡五号古墳の埴輪

今回は、黒岩地区の古墳について概括した後、「三」について紹介します。富岡五号古墳はかつて西小学校の校庭にあった古墳です。

平成29年群馬県教育委員会発行『群馬県古墳総覧』によると富岡市には、現存・消滅を合わせて全部で古墳が649基ある（あった）ことが報告されています。（18基の旧北甘楽郡福島町分を含みます。黒岩地区分はその内5基だけです。黒岩カルタでは「とおき古代を想う古墳群」というたわれていますが、市内でみると非常に古墳数は少ない地域といふこ

とがいえます。その5基は昭和10年に分布調査し昭和13年にまとめられた『上毛古墳総覧』です。報告された『上毛古墳総覧』によると一基は機足塚（参照黒岩探訪8）のことです。二つ目は上黒岩新田にあるとされています。三つ目は上黒岩にある不明です。三つ目は上黒岩にあり、所有が黒岩神社となっています。備考欄に「石棺出デシトイフ」とあります。四つ目、五つ目は下黒岩にあり、備考欄に書いてあることから「他二同様ノモノ」が4基あったことがわかります。おそらくその位置は、小字の「田中前」またはこれに接する「谷津」と思われます。学校から見ると南東にあたります。山に向かう所に写真のように石室の石材と思われる石が露出してゐる塚があり、その形状からほぼ古墳に間違いありません。文化財担当の先輩から、昔このあたりから古墳や上の方で古墳をいくつか確認したといふ話も聞きました。黒岩で古墳のあたりにはこのあたりになると思われます。



古墳跡形状の塚（下黒岩）



富岡五号古墳出土埴輪 左から

女子 男子 馬飼〔農夫〕 靱（ゆき）靱（とも）太刀（たち）

『富岡市の文化財』（富岡市教育委員会 2009）より

さて、富岡五号古墳についてです。この古墳は西小学校の校庭拡張整備のため昭和43年に発掘調査された後なくなりしました。この古墳は六世紀中頃の直径30mほどの比較的大きな円墳とされています。ここから出土した埴輪はともすばらしいもので富岡市指定文化財になっています。